

# 富士重工業株式会社 群馬製作所

所在地 群馬県太田市

雇用障害者 肢体不自由者／聴覚障害者／内部障害者



## TPM活動を通して、障害者の意見を職場環境の整備に反映

### 事業所の概要

富士重工業株式会社群馬製作所は、本工場、矢島工場、太田北工場、大泉工場、伊勢崎工場を有し、軽自動車、小型自動車、普通自動車ならびにその部品の製造、修理及び販売を行っています。社員数は約7,300名です。

障害者雇用は、1970年代後半から聴覚障害者を中心に採用していましたが、さらなる雇用の拡大のために、1998年に大泉工場第1トランスミッション課にパーツ供給係を立ち上げ、肢体不自由者の受け入れも進めることにしました。

採用活動は、パーツ供給係立ち上げの際、中途採用を行いましたが、現在はろう学校の新規学卒者採用を中心に進めています。学校を訪問し、情報交換や1週間程度の職場実習の受け入れ等も実施しています。

### 障害者雇用の取り組み

#### 社内への啓発

パーツ供給係を立ち上げて障害者雇用を進めていくことについて、事業所内に方針を周知しました。

#### 職務の開発や調整

従来、エンジン組立職場で行っていたパーツ組立作業を集約し、パーツ供給係を立ち上げました。

#### 雇用管理上の配慮・工夫

肢体不自由者を受け入れるために、スロープ、自動ドア、車椅子対応の自動販売機、トイレを設置。これらの設備改善では、一部助成金を活用しました。また、工場内での移動の負担を軽減するために、職場の近くに駐車場を



部品供給作業を行う武藤章広さん

整備し、昼食時に食堂で配られる弁当を職場まで配達できるようにしました。

聴覚障害者を雇用した時には、部品の締め付け具合を音で判断する工程をランプで知らせる仕組みにしたり、パトライトを設置しました。

パーツ供給係では、ほかの部署と異なり、交代制勤務を導入していません。車椅子を使用している障害者に対しては、褥そう防止のために、随時ストレッチをすることを励行しています。

効率的な作業工程や環境整備の一環で、TPM活動\*を行っています。障害者からも意見を出してもらい、障害特性に応じた環境整備につなげています。

### \*TPM活動とは

「生産システム効率化の極限追求（総合的効率化）をする企業体質づくりを目標として生産システムのライフサイクル全体を対象とした"災害ゼロ・不良ゼロ・故障ゼロ"等あらゆるロスを未然防止する仕組みを現場現物で構築し、生産部門をはじめ、開発・営業・管理などのあらゆる部門にわたってトップから第一線従業員にいたるまで全員が参加し、重複小集団活動により、ロス・ゼロを達成すること」（社団法人日本プラントメンテナンス協会ホームページより）



自動ドアを設置



車椅子用トイレ

### 雇用事例

#### Case1:大津雅人さん

50代前半、勤続9年の大津さん。ハローワークからの紹介を受けて入社。パーツ供給係に所属し、エンジンの小物部品の組立作業に従事しています。

大津さんは、肢体不自由で車椅子を使用しています。職場にはスロープや車椅子用のトイレ等が設置されてお

り、作業をするうえで不自由はありません。

#### Case2:武藤章広さん

30代前半、勤続4年の武藤さん。ハローワークの合同面接会を通じて入社、パーツ供給係に所属しています。

武藤さんは、両上肢と体幹機能に障害があります。自立歩行ができるので、部品の運搬、供給作業に従事しています。入社後、民間資格の「自主保全士」を取得しました。

#### Case3:大河津久実さん

20代前半、勤続1年の大河津さん。入社後、パーツ供給係に所属し、エンジンの小物部品の組立作業に従事しています。

大河津さんは、聴覚障害。口の動きを読み取る口話と指示された内容を復唱し確認しながら、コミュニケーションをとっています。



車椅子の高さに配慮した自動販売機



車椅子の高さに配慮したロッカー

## 職場インタビュー

### 人事部主査 長川光弘さん

パーツ供給係を立ち上げる際には、職場内の環境整備を行うとともに、家族に下肢障害者がいる社員の意見を参考にしました。障害者社員を工場内で見かけた時は、私から挨拶をするようにしています。お互い顔を見ることでコミュニケーションがとりやすくなるし、体調について察することもできます。



### 大津雅人さん(肢体不自由)

車椅子を使用していますが、職場環境が整備されているので、不便と感じることはありません。仕事では、安全と品質が保てるよう取り組んでいます。作業効率が上がるようにTPM活動で改善案の提案もしています。



### 武藤章広さん(肢体不自由)

安全と品質を守るために決められた手順を守って作業をすることを心がけています。職場の勉強会を通じて、自主保全の資格を取得しました。今度は危険物取扱者の資格を取得したいと考えています。



### 大河津久実さん(聴覚障害)

仕事上のコミュニケーションは、口話で読みとり、誤りが無いよう復唱しながら確認しています。今後は資格取得に挑戦したいと考えています。

